

平成19年度第2回附属図書館(本館)利用学生モニター会議について

平成20年2月18日(月)に附属図書館(本館)利用学生モニター会議が行われました。モニター学生にはたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

懇談会の中で出された質問・要望等について、以下のように回答いたします。

●質問

- ・ 静岡新聞や朝日新聞の記事検索が学内 LAN から利用可能になりましたが、プリントアウトやファイルの保存は可能ですか？

プリントアウトは可能ですが、ファイル保存はできません。朝日新聞の場合は聞蔵Ⅱビジュアル利用規定(<http://database.asahi.com/library2/main/rule.php>)をご覧ください。

図書館 4 階のパソコンで検索した場合は、生協のコピーカードを用意していただき、コピー機にて 1 枚 10 円で印刷が可能です。

- ・ この度、ジェンダー関係の資料が充実するとのことですが、今までジェンダー関係の資料は「あざれあ図書室」を利用していました。今後あざれあ図書室との連携予定はありますか？

残念ながら今のところは県立中央図書館以外の県内公立図書館との連携予定はありません。必要な場合は直接あざれあ図書室に行って利用してください。

あざれあ図書室(<http://azarea.pref.shizuoka.jp/toshu/azareatosyo.htm>)は駿河区馬淵にあり、男女共同参画・女性関連資料の専門図書室で資料が充実しています。ジェンダー関係の資料を探すときはぜひ、おうだんくんなどで検索してみてください。

また、県立中央図書館については、週に 1 度の配送便により県立中央図書館で借りた資料の返却ができるようになっているほか、無料で資料の取り寄せができますので是非ご利用ください。

- ・ 図書館司書の実習受入は行っていますか？

司書講習は夏休みなどにまとめて講習を受けて必要な単位を取得しますが、通信教育などの場合は、最寄の図書館で講習を受けることができる場合があります。(受講している大学の規定によります。)実習は要望があれば、本学でも受入が可能です。最近は受入の実績はありませんが、希望があれば受け入れていきたいと考えています。

図書館司書の資格を取るためには、司書講習を受講するか、司書の養成課程のある大学にて、通信制・夜間・科目等履修などで単位を修得していただくなどの方法があります。詳しくは文部科学省のホームページにも掲載されています。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/shisyo/index.htm)

●要望

- ・ 今年度で卒業なので、来年度は一般市民で利用させてほしい。一般市民のモニターを募集するようであれば、ぜひ参加したい。
最近、卒業生や一般の利用者も多いので、一般市民のモニターの募集も検討をしていきます。
- ・ 教育学部(おそらく人文学部も)では、卒業論文の提出期限が1月10日頃のため、4年生は実家に帰らず勉強をしている人が多いようです。今年は県立中央図書館が1月2日から施設開放していたため、そちらを利用したという人がいました。来年度の年末年始は休みが長いので、せめて何日か開館してもらえると助かるのですが。
ニーズなどを調査し、強い要望があれば実現できるようにしていきたいと考えています。学部長などと相談してみます。
※平成20年度は12月28日(土)と29日(日)を臨時開館することになりました。ぜひご利用ください。
- ・ カウンタ前に設置されているミニコーナーは、書庫内図書の出納の間などに見ることができて楽しい。大学にもこんな本があったのか、と新しい発見もあるので、今後も続けてほしい。
毎回テーマを決めて、短時間で読める楽しい本を選んでいきます。今後取り上げてほしいテーマなどがあれば教えてください。
- ・ 以前は図書館のパソコンは全て図書館のホームページから見ることができたので「お知らせ」などがチェックできたが、最近はネットワークの認証画面になってしまっているため見ることができない。それならば、パソコンの画面(壁紙)のほうにお知らせを書いておくのはどうか？
いいアイデアをありがとうございます。利用者用パソコンの設定については担当者と検討していきます。図書館からのお知らせはホームページのほか、学内の掲示板などでお知らせしていますので、ぜひご覧下さい。
- ・ 教科書に指定されている図書を購入してほしい。高額なものなどは入手が困難です。
シラバスに掲載された参考文献は全て受け入れるようにしていますが、教科書は学生が常に携帯するものと考え、原則として購入していません。高額なものや図書館にもあるべき資料については今後担当教員と相談し、受け入れていきます。
シラバスに「授業で別途紹介」などと書かれている場合も、教員からの連絡がないと図書館で受入ができません。図書館からも教員に広報し、受け入れていけるように努力します。
レポートの課題図書なども大量に所蔵していないため、一人の学生が長時間利用していると他の学生が利用できない場合があります。教員からの要望があれば貸出禁止とし、館内利用および必要な部分の複写を依頼しています。
購入してほしい資料は、リクエストしてください。WEB サービス「学生用図書リクエスト」から申し込むか、図書館内リクエストボックスにリクエストを入れてください。
- ・ 研究室にある資料は図書館を通して借りることができるようになっているようだが、それでもやは

り不便を感じる。

OPAC 検索結果で「研究室所在」となっている資料は、図書館窓口にご相談していただければ、スタッフが教員と連絡を取りますが、時間がかかることもありあり、ご迷惑をおかけしております。県立中央図書館などを紹介できることもありますので、まずは遠慮なく窓口にご相談ください。授業の課題となっている資料の場合は可能な限り図書館でチェックし、図書館でも所蔵するようにするか、教員が利用していない場合は返却を求めています。

・ 就職支援窓口との連携はあるのか。図書館にも就職関係の資料があるといい。

大学でも就職支援の窓口がありますが、図書館との連携は今のところありません。今後は学務とも連携して、図書館にあると便利な職種紹介などの資料を揃えていきたいと思えます。

今年度より、学生による学生用図書選定制度を設けました。学生用図書は今まで教職員が選んでいましたが、昨年末に学生モニターが直接書店へ行き、学生用図書を選びました。来年度も実施する予定ですのでぜひその機会などを利用して、学生用図書収集のアドバイスをいただき、より利用しやすい図書館を目指していきたいと思えますので、ご協力をお願いします。